



北海道

平成5年(1993年)北海道南西沖地震災害記録

平成7年3月



北海道

平成5年(1993年)北海道南西沖地震災害記録

平成 7 年 3 月

北 海 道

はじめに

平成5年(1993年)7月12日(月)22時17分、北海道南西沖を震源とするマグニチュード7.8の大地震が発生し、極めて短時間に大津波が来襲するなど、この地震により奥尻島、渡島半島を中心に道内の広い範囲に甚大な被害をもたらしました。

今回の災害により、尊い生命を失われた方々に対し、あらためて哀悼の意を表し、ご遺族に対し衷心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

また、日夜、懸命な救助活動等にご尽力・ご協力頂いた関係機関、ボランティアの方々をはじめ、全国から義援金・救援物資のご支援をお寄せ頂きました方々に対し、厚くお礼申し上げます。

この地震の規模は、先に発生した釧路沖地震と同規模の地震であり、住家などの建築構造物、道路、港湾など、被害が極めて甚大であったばかりでなく、集落が壊滅的な被害を受けました。

釧路沖地震から半年後に、同規模の地震が発生することなど予想もせず、あらためて自然災害の恐ろしさを痛感するとともに、地震、津波の観測体制を早急に整備するべきであると実感した次第であります。

現在、地元市町村と一体となって被災地域の復興に全力をあげ取り組んでいるところであり、また今次災害を踏まえ、より災害に強いまちづくり、人づくりに努めるなど、地震防災対策の整備充実を図ってまいりたいと考えております。

本書は、今回の北海道南西沖地震の概要等を取りまとめたものであり、今後の防災対策の参考に広く活用頂ければ幸いです。

平成7年3月

北海道知事 横路孝弘
